（4）工事における社会的コストの低減
　工事におけるリサイクルの推進（施策番号Ⅳ①）

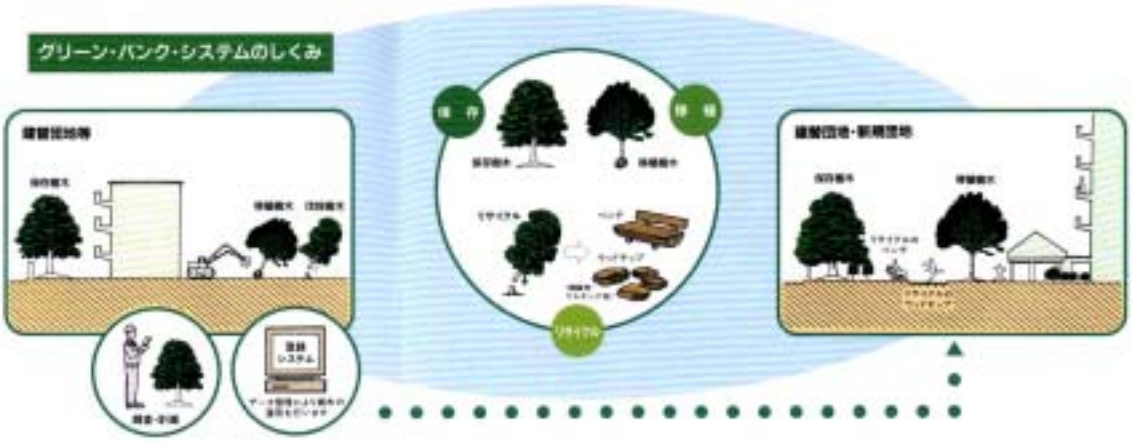
グリーン・バンク・システムを利用した緑のリサイクルへの取組み

都市基盤整備公団　武蔵野市の桜堤団地等での緑のリサイクル

【施策の概要】
　グリーン･バンク･システムとは、長い年月を経て成長した樹木が育んできた、豊かな緑環境や、美しい景観を継承していくため、緑の資産を公団事業全体で有効に活用していくための総合的なシステムで、既存樹木の保存･移植･リサイクルにより、環境負荷の低減と共に、都市の緑のネットワーク形成や、地域のコミュニティー形成に寄与することをめざしています。

【施策のシステム内容】
　グリーン・バンク・システムは、既存樹木を調査し、そのデータをコンピューターに登録し、樹木情報のネットワークを図っていくところから始まります。建替団地での活用はもちろん、新規団地での広場や公園などの緑化計画においても、このコンピューターに登録された樹木の中から、設計意図に適した樹木を検索・選定し、活用していきます。また、伐採樹木についても、ウッドチップやベンチなどにリサイクルして、利用を図ります。

【施策の実施状況・イメージ図】
　団地建替工事等において、約6，500本の樹木の再利用を図りました。



（平成１２年度は、約５，０００本の樹木をリサイクルして活用しました。）